



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	49,942	5.4	2,405	112.7	2,473	127.5	1,618	136.9
2020年3月期第2四半期	47,382	△21.6	1,130	△62.0	1,087	△63.6	683	△69.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,885百万円(-%) 2020年3月期第2四半期 △477百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	24.91		24.91	
2020年3月期第2四半期	11.03		—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	143,083	91,861	64.1
2020年3月期	136,059	82,465	60.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 91,760百万円 2020年3月期 82,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	5.00	—	13.00	18.00	
2021年3月期	—	8.00				
2021年3月期(予想)			—	9.00	17.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	100,000	△0.7	4,900	△6.3	4,960	△7.7	3,440	△6.8	52.34	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	67,909,449株	2020年3月期	67,909,449株
2021年3月期2Q	1,305,062株	2020年3月期	5,630,407株
2021年3月期2Q	64,965,820株	2020年3月期2Q	61,925,148株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2020年11月13日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中通商問題の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による影響はあったものの、輸出や生産活動は持ち直し、景気に底入れの兆しがみられました。設備投資は、企業収益の悪化や先行きの不透明感から、延期や中止の動きがみられました。そのような中、電子産業においては、5GやIoT向けなど情報通信技術の用途の拡がりを背景とした投資が行われ、底堅く推移しました。

海外経済は、米国では雇用環境の改善が続き、製造業は持ち直しの動きが持続しました。また、経済活動が再開している中国では製造業全般で生産活動の正常化が進み、5G関連の需要が拡大するなど設備投資が積極的に行われました。一方、東南アジアは、感染拡大に対する対策を打ち出し、段階的な経済活動を再開しているものの、その回復のペースは緩やかとなりました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高49,942百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益2,405百万円（前年同四半期比112.7%増）、経常利益2,473百万円（前年同四半期比127.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,618百万円（前年同四半期比136.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機の売上高が減少したものの、リチウムイオン電池製造システムの売上高は増加いたしました。また、自動包装システムは、売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は7,633百万円（前年同四半期比15.2%増）、セグメント利益はセールスマイクスの変化や新たな中国市場向け装置の開発費増加などにより、856百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、5Gの普及にテレワーク関連の需要が重なり、設備投資が拡大した半導体製造装置向け売上高は増加いたしました。一方、自動車の製造設備向けや工作機械向けの売上高は、それぞれ大きく減少いたしました。

海外市場では、製造業全般で生産活動の正常化が進んだ中国や半導体設備投資が底堅く推移した韓国や台湾などで売上高が増加いたしました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により東南アジアの売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は42,309百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は生産性改善や経費削減の効果により、3,603百万円（前年同四半期比72.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7,024百万円増加の143,083百万円となりました。これは主に、売上債権及び有形固定資産が減少したものの、現金及び預金並びに投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,371百万円減少の51,222百万円となりました。これは主に、借入金及び賞与引当金が増加したものの、仕入債務、未払賞与及び未払消費税等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9,396百万円増加の91,861百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ3.7ポイント増加の64.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ10,402百万円増加の28,812百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、5,160百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,437百万円、減価償却費2,684百万円、賞与引当金の増加2,049百万円、売上債権の減少3,598百万円による資金の増加、未払賞与の減少2,025百万円、仕入債務の減少1,445百万円、法人税等の支払額1,105百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,492百万円（前年同四半期比45.6%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,521百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、6,746百万円（前年同四半期は1,966百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の増加2,290百万円、新株予約権の行使7,309百万円による資金の増加、長期借入金の返済による支出1,790百万円、配当金の支払額808百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、機器部門の受注状況が回復基調に向かってきていることから、当初予想から上方修正いたします。

ただし、当予想は、現在の感染状況が緩やかに改善されることを前提としており、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、すみやかに業績への影響をお知らせいたします。

なお、為替レートは、1米ドル105円を前提としています。

2021年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 96,500	百万円 3,210	百万円 3,270	百万円 2,270
今回修正予想 (B)	100,000	4,900	4,960	3,440
増減額 (B - A)	3,500	1,690	1,690	1,170
増減率 (%)	3.6	52.6	51.7	51.5
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	100,717	5,230	5,374	3,689

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（2020年11月13日）公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,987	29,242
受取手形及び売掛金	24,777	21,159
電子記録債権	4,031	4,195
営業未収入金	215	178
商品及び製品	9,652	10,496
仕掛品	5,132	3,978
原材料及び貯蔵品	21,190	21,872
その他	1,456	1,145
貸倒引当金	△22	△20
流動資産合計	85,420	92,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,793	19,987
その他(純額)	20,439	19,781
有形固定資産合計	40,232	39,768
無形固定資産	1,869	1,657
投資その他の資産	8,537	9,407
固定資産合計	50,639	50,834
資産合計	136,059	143,083
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,994	11,566
電子記録債務	2,369	2,420
短期借入金	9,651	11,915
1年内償還予定の社債	129	31
未払法人税等	1,199	839
賞与引当金	279	2,331
その他の引当金	469	522
その他	10,666	7,506
流動負債合計	37,760	37,133
固定負債		
社債	16	—
長期借入金	13,270	11,493
その他の引当金	65	18
退職給付に係る負債	414	418
その他	2,067	2,157
固定負債合計	15,833	14,088
負債合計	53,594	51,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,017	16,380
利益剰余金	61,992	62,799
自己株式	△3,952	△916
株主資本合計	81,074	89,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,898	2,895
為替換算調整勘定	206	382
退職給付に係る調整累計額	△891	△796
その他の包括利益累計額合計	1,213	2,481
新株予約権	71	—
非支配株主持分	105	100
純資産合計	82,465	91,861
負債純資産合計	136,059	143,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	47,382	49,942
売上原価	35,750	37,005
売上総利益	11,631	12,937
販売費及び一般管理費	10,500	10,531
営業利益	1,130	2,405
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	92	80
持分法による投資利益	—	1
補助金収入	28	135
その他	151	198
営業外収益合計	280	424
営業外費用		
支払利息	110	103
売上割引	74	67
持分法による投資損失	0	—
デリバティブ評価損	15	—
為替差損	40	78
その他	83	107
営業外費用合計	324	356
経常利益	1,087	2,473
特別利益		
固定資産売却益	2	0
補助金収入	32	25
環境対策引当金戻入額	10	—
特別利益合計	45	26
特別損失		
固定資産除却損	33	20
固定資産圧縮損	32	25
環境対策引当金繰入額	—	15
特別損失合計	65	62
税金等調整前四半期純利益	1,067	2,437
法人税、住民税及び事業税	309	740
法人税等調整額	73	80
法人税等合計	383	820
四半期純利益	684	1,616
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	683	1,618

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	684	1,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	996
為替換算調整勘定	△1,162	177
退職給付に係る調整額	128	94
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,162	1,268
四半期包括利益	△477	2,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△468	2,885
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,067	2,437
減価償却費	2,816	2,684
持分法による投資損益(△は益)	0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	104	2,049
未払賞与の増減額(△は減少)	△40	△2,025
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	262	92
売上債権の増減額(△は増加)	2,263	3,598
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,758	△297
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,316	△1,445
前受金の増減額(△は減少)	636	377
その他	422	△1,300
小計	6,974	6,169
利息及び配当金の受取額	102	90
利息の支払額	△109	△102
法人税等の支払額	△443	△1,105
法人税等の還付額	1,099	82
補助金の受取額	32	25
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,656	5,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△157	△0
定期預金の払戻による収入	—	152
有形固定資産の取得による支出	△2,281	△1,521
無形固定資産の取得による支出	△332	△156
その他	26	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,744	△1,492
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	231	2,290
長期借入れによる収入	272	—
長期借入金の返済による支出	△1,790	△1,790
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△495	△808
リース債務の返済による支出	△134	△135
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	7,309
その他	△49	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,966	6,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	△249	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,695	10,402
現金及び現金同等物の期首残高	12,028	18,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,723	28,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,626	40,755	47,382	—	47,382
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	87	87	△87	—
計	6,626	40,843	47,469	△87	47,382
セグメント利益	1,057	2,084	3,142	△2,011	1,130

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,011百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,026百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,633	42,309	49,942	—	49,942
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	40	40	△40	—
計	7,633	42,349	49,983	△40	49,942
セグメント利益	856	3,603	4,459	△2,053	2,405

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,053百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,069百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	8,522	△4.7
機 器 部 門	43,072	+9.6
合 計	51,594	+6.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	6,165	△35.3	11,585	△24.3

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	7,633	+15.2
機 器 部 門	42,309	+3.8
合 計	49,942	+5.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。